

黒姫 白禿沢～ゼンダナ沢

石川 貴大

■山行年月日:平成30年9月1日

■メンバー:石川 貴大 齋藤 憲一

■コースタイム:只見駅(6:30)～駐車場(8:00)
～破間川入渓(8:45)～白禿沢(9:00)～白禿
沢 核心部(9:45)～ゼンダナ沢(13:00)～破
間川(15:00)～駐車場(16:00)

6時30分に只見駅にて落ち合い大白川の黒姫を目指す。入渓するポイントまでは林道からアプローチする。工事の人に通らせてもらい先を目指す。ここでも水害後の河川改修なのか砂防ダムができるようだ。林道を30分ほど進み、入渓箇所周辺で釣り人の道を探すが見つからず小さな沢状になっているところから破間川に下りる。途中、溪流釣りの人とすれ違いながら白禿沢の分岐に到着。入口の様子からすでにいろいろありそうな感じがする。核心までは緑色の基岩がだんだんに削られ綺麗に見えた。30分ほど行くとじょじょに沢の両岸が迫ってくる。狭い場所は両手両足をつっかえて水に濡れながら先に進むと10mほどの滝が現れる。沢の斜面上部にはずっとスラブ地帯が続くので、高巻きできる場所まで来た道を戻る。そこから懸垂下降で降りるもその先にも同じような様子が続いている。沢の水量が多く、水深も深いのが流木が詰まっていた比較的容易に通ることができる。時折木の詰まっていないところは泳ぐこともあった。ある程度まで詰めてゼンダナ沢に下りるため

に高巻き場所を思案する。位置を確認すると思っていたよりだいぶ下部であった傾斜の緩い場所からゼンダナ沢に入渓。途中、13mほどの滝にぶつかるが、右手に入っていた獣道を辿るとうまい具合に滝の下まで通じていた。動物たちの賢明さには頭が上がらない。そこから先には両岸がなめている4mほどの窯があり、濡れないように頑張ってお下りてきたがそれをあきらめて泳いだ。その先は、何もなく破間川に合流。結果的に、どちらから入渓していたとしても面白い沢だったと思う。

両岸にスラブが続く



